



地域共生社会の実現に向けて

高知市健康福祉部地域共生社会推進課 山下 隆文
088-821-6513 kc-111200@city.kochi.lg.jp



1 地域共生社会とは？

ググってみた・・・



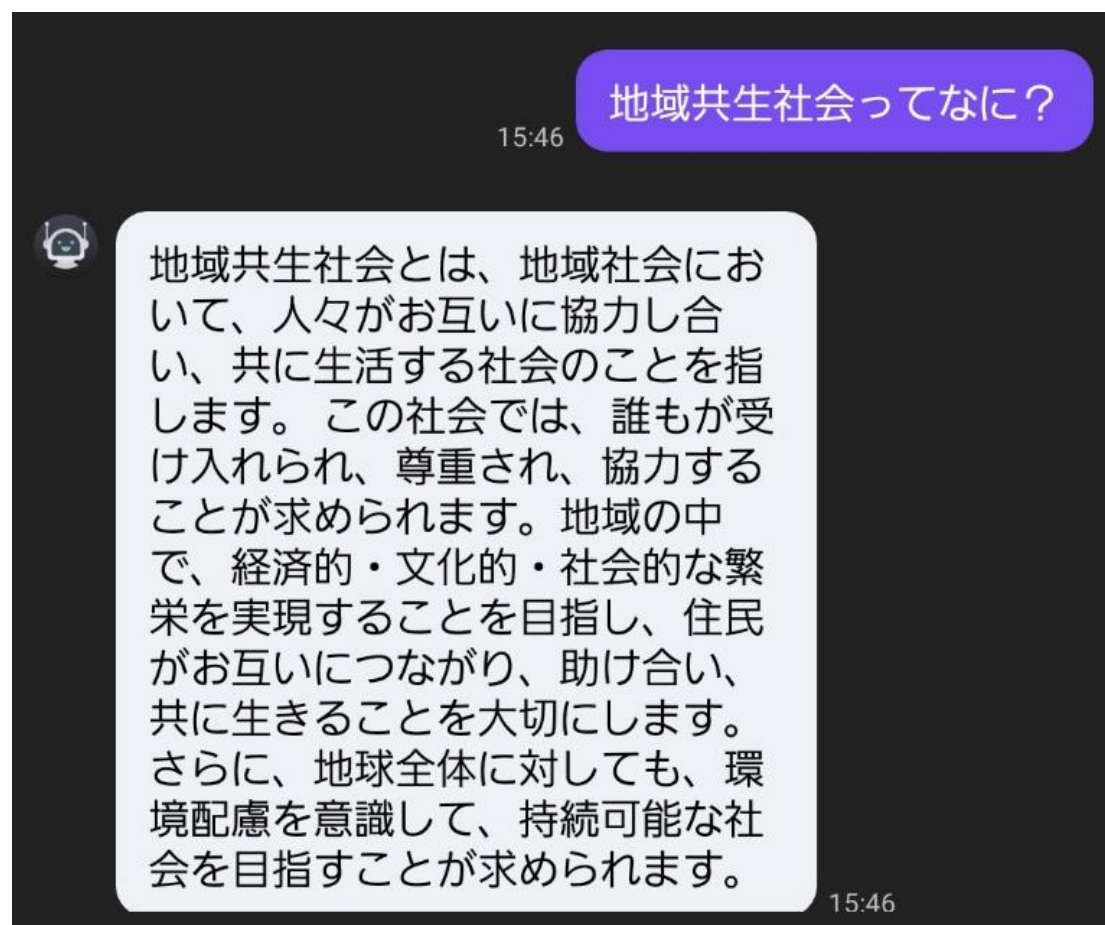
Ⅰ 地域共生社会とは・・・？

② ググってみた結果

ググってみた結果・・・



チャットbotに聞いた



国はこう言っています

地域共生社会の理念

制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会を創るという考え方。
福祉の政策領域だけでなく、対人支援領域全体、一人ひとりの多様な参加の機会の創出や地域社会の持続という観点に立てば、その射程は、地方創生、まちづくり、住宅、地域自治、環境保全、教育など他の政策領域に広がる。

(厚生労働省 令和元年地域共生社会推進検討会最終とりまとめ)



一人ひとりが多様な経路で社会や地域とつながり、
参加を核とした自律的な生の実現を最終的な価値に据え、その価値の実現をめざす

(厚生労働省 平成29年地域における住民主体の課題解決力強化・
相談支援体制の在り方に関する検討会最終とりまとめ)



ん？

分かりにくくてすみません

「地域共生社会」を言葉で説明すると“とてつもなく”分かりにくい。ただの「キレイごと」だと感じる人もいるでしょう...



まずは背景を知る必要

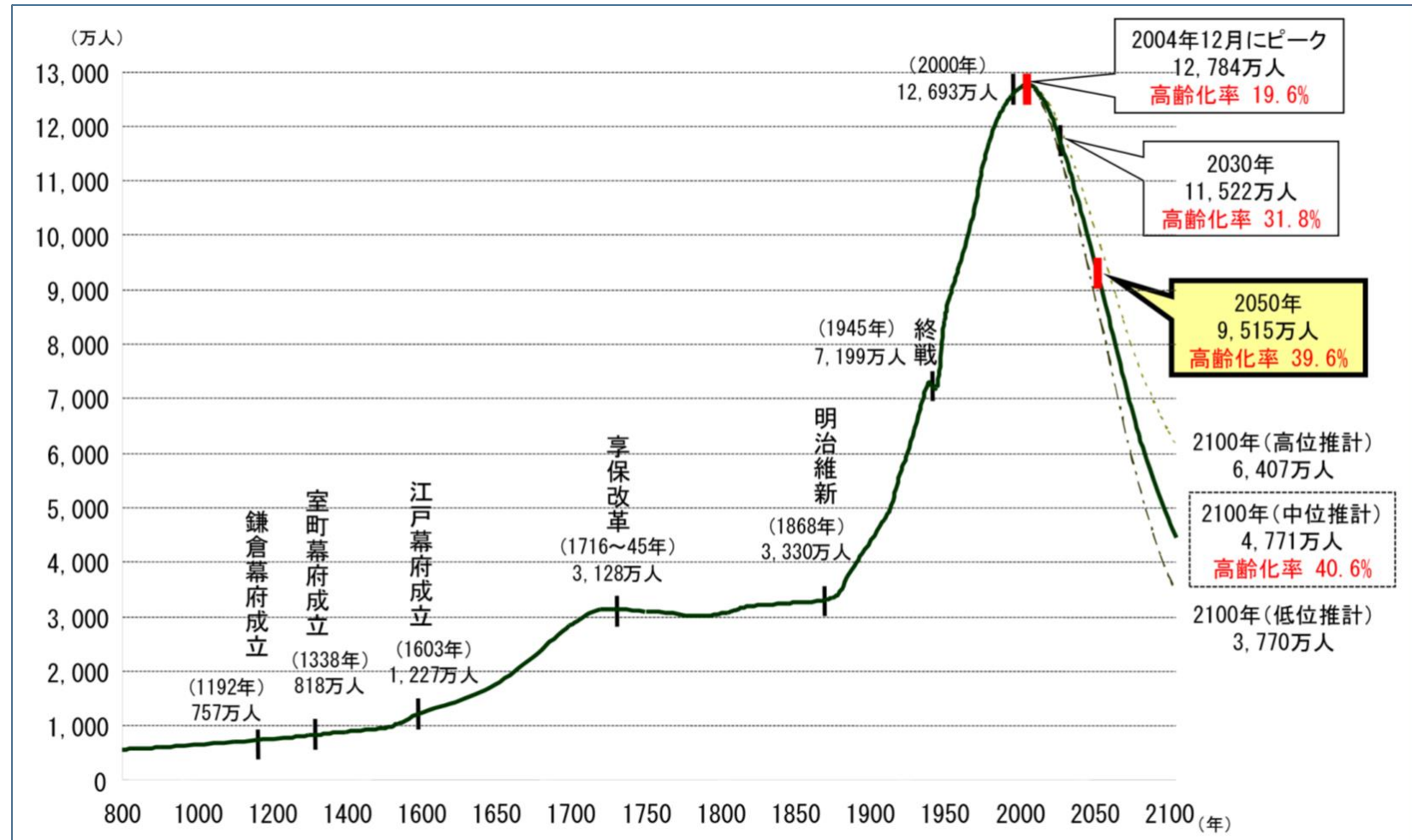


2 社会情勢の変化

2 社会情勢の変化

① 日本の人口の長期的推移

【参考 日本の総人口の長期的推移】 出典:「国土の長期展望」中間とりまとめ 概要(平成23年2月21日国土審議会政策部会長期展望委員会)



2 社会情勢の変化

② 令和2年度版厚生労働白書

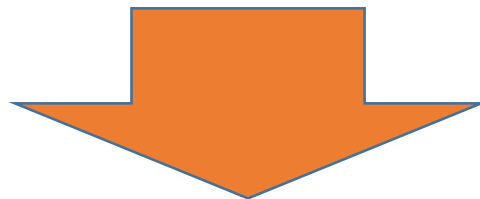
出典：令和2年度版厚生労働白書

平成の30年間と、これから2040年にかけての社会の変容

				1989（平成元）年	2019（令和元）年	2040（令和22）年
1	高齢者数（高齢化率）			1,489万人（12.1%）	3,589万人（28.4%）	3,921万人（35.3%）
2	その年に65歳の人が各年齢まで生存する確率	90歳		男22% 女46%	男36% 女62%	男42% 女68%
		100歳		男2% 女7%	男4% 女16%	男6% 女20%
3	出生数/合計特殊出生率			125万人/1.57	87万人/1.36	74万人/1.43
4	未婚率（35～39歳）			男19.1% 女7.5%	男35.0% 女23.9%	男39.4% 女24.9%
5	平均世帯人員			2.99人 *1	2.33人 *2	2.08人
6	就業者数 （うち医療福祉従事者数）			6,128万人 （221万人*3）	6,724万人 （843万人）	5,245～6,024万人 （1,070万人）
7	就業率	女性	25～29歳	57.3%	82.1%	84.6%
			30～34歳	49.6%	75.4%	83.4%
	高齢者	60～64歳	52.3%	70.3%	80.0%	
		65～69歳	37.3%	48.4%	61.7%	
8	非正規雇用労働者数（割合）			817万人 （19.1%）	2,165万人 （38.3%）	—
9	1世帯当たり平均等価所得（実質）			368.7万円 *4	346.0万円 *5	—
10	スマートフォン保有世帯割合			0%	79.2% *5	—
11	「形式的つきあい」が望ましいとする割合			親戚 同僚 隣近所 13% 15% 19% *6	親戚 同僚 隣近所 26% 27% 33% *5	—
12	社会保障給付費（対GDP比）			47.4兆円 （10.5%）	117.1兆円 *7 （21.4%）	188.2～190.0兆円 （23.8～24.0%）

（注）定義、資料出所等の詳細は本文参照。*1は1990年、*2は2015年、*3は1988年の推計値（事務職等を含まず）、*4は1991年、*5は2018年、*6は1988年、*7は2017年。
2040年の就業者数は経済成長・労働参加の状況により幅がある。2040年の医療福祉従事者は、需要面からの推計値。就業率については、経済成長・労働参加が進むケースにおける推計値。社会保障給付費は3時点とも地方単独事業分を含まず、2040年については単価の置き方により幅がある。

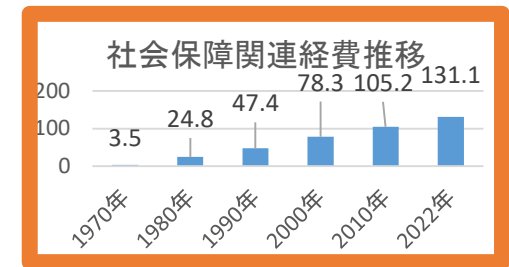
- 人口減少
- 少子高齢化
- 一人暮らし高齢者の増加
- 家族やご近所付き合いの希薄化



社会に多くの**課題**が...

全体の課題

○社会保障関連経費の増加 …… 医療、介護、年金など



○労働者(担い手)の不足 …… 介護、保育など

○空き家の増加、老朽化 …… 空き山問題も

○公共交通の課題 …… 維持が困難な路線など

個人や世帯の課題

○複雑化・複合化した課題を抱える世帯の増加

- ・孤独死
- ・孤独・孤立 …… ひきこもりなど
- ・8050問題 …… 80代の親が50代の生活を支える状態。
- ・ヤングケアラーの問題 …… 日常の学習等に支障が出るほど、子どもが祖父母などの介護を担うなどの状態
- ・認知症高齢者の増加 …… 徘徊、事故の危険

○生活上のちょっとしたことができない人の増加

- ・電球の取替、ゴミ出し、庭の草刈、買物など

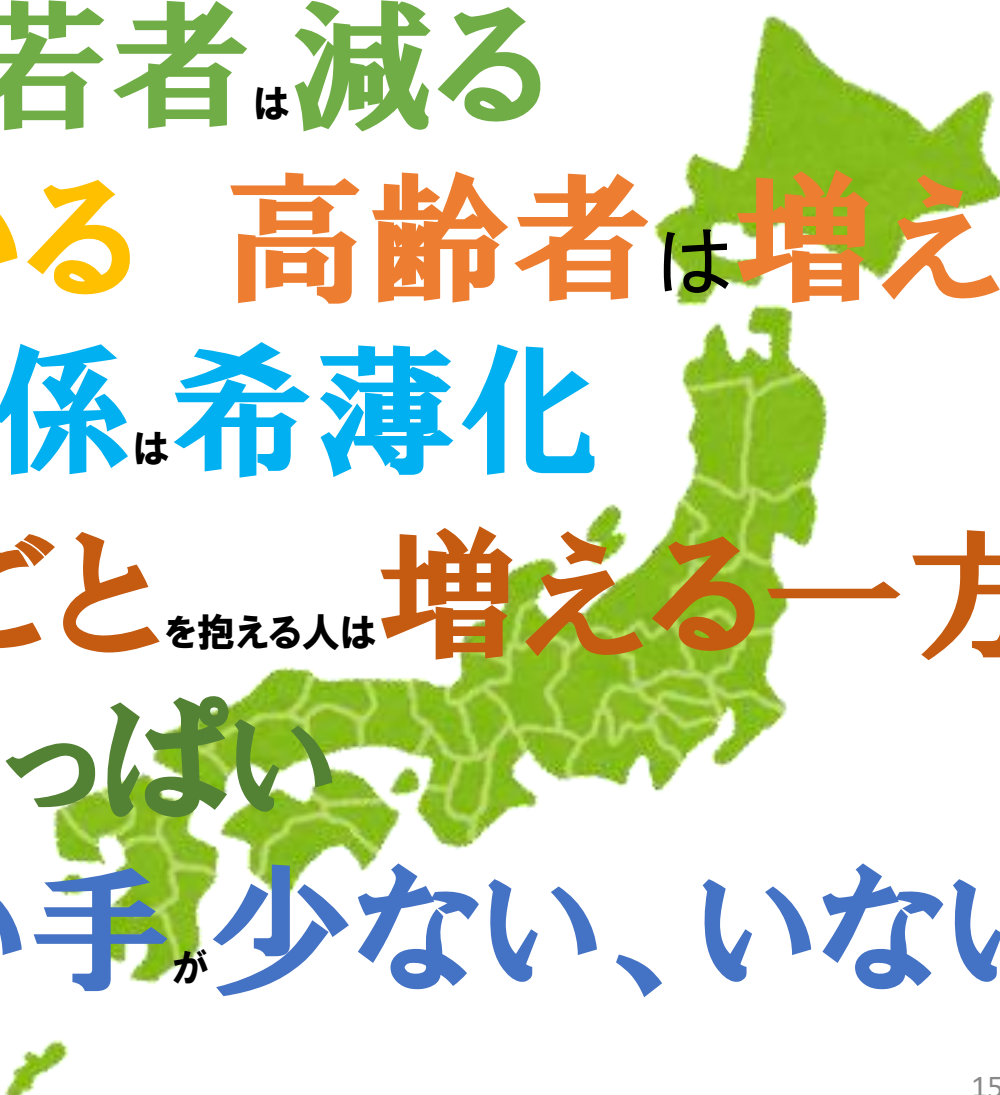
地域の課題

○担い手不足・人間関係の希薄化

- ・町内会
- ・防災の活動
- ・ごみステーションの管理
- ・交通安全の活動
- ・地域のスポーツ少年団の活動
- ・PTA活動
- ・夏祭り・子ども会イベント・地区運動会も存続の危機

2 社会情勢の変化

⑦ ということで・・・

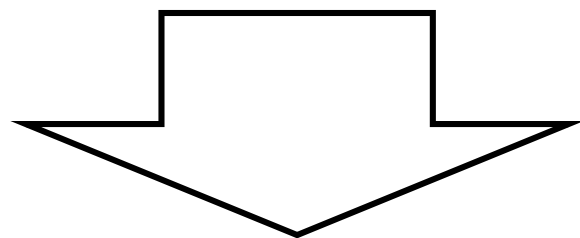


人口は減る 若者は減る
子どもも減っている 高齢者は増える
人間関係は希薄化
生活の困りごとを抱える人は増える一方
課題はいっぱい
でも、担い手が少ない、いない



3 # 地域共生社会

地域共生社会



**人口減少・少子高齢化時代の
課題に対応するための理念**

地域共生社会とは

行政だけではなく
国民全体で目指す
日本の姿、理念

高知市型共生社会を目指す

厳しい時代だけど、住民のニーズに応え、住民が抱える様々な課題に対応できる「まち」を目指すこと

高知市の“まちづくり”の理念



4 高知市の取組

“縦割”の打破

～縦の組織に横串を～

○地域共生社会推進課の設置(R3)

- ・複数の部局・課が関わる事案の企画・調整・マネジメントを担う

○地域共生社会推進本部の設置(R3)

- ・市長をトップとし、全部局長が集まり、情報共有・協議・検討を行う
- ・課レベルは本部の下位組織として「部会」を設置
- ・福祉部門には、現場レベルでの協働のマネジメント役を配置

(包括的相談支援員)

○職員の意識改革

- ・研修の企画・実施など



**「担当じゃありません」は、
時代遅れです。**

だからといって、全部自分がやればいって話ではない。
部署別の業務がある。役割分担がある。担当制もある。
「これはあそこの仕事だ。」「これはあの人の担当だ。」は必要。
でも... もっと何かできないか、もっと高知市を良くするために。

当たり前

社会が変わった ⇒ 市役所の仕事も変わる

社会情勢の変化に対する挑戦

○福祉的な支援のレベルUP

- ・組織的な連携体制の構築 … 地域共生社会推進本部、包括的相談支援員配置など
- ・個人能力のアップ … 職員研修など
- ・事例の積み上げによる制度改正・新たな施策の企画など

○誰もが困りごとを相談しやすい“街”に

- ・市役所の「どこに」「どのような」相談がきても「しっかり聞いて」「しっかりつなぐ」 ※当たり前
- ・地域の身近な場所に「なんでも相談できる」窓口を設置 … ほおっちょけん相談窓口

○現代にあった“つながり”作り ※社会資源の創出・強化

- ・認知症カフェ、子育てサロン、子ども食堂など様々な“居場所”の創出や住民ボランティアの育成など

○多様な主体との協働(担い手の確保)

- ・住民、団体、民間企業など ※企業の社会貢献の思いと住民や地域の課題・ニーズのマッチング

4 高知市の取組

③ 相談支援体制の整備

1. 相談を受けとめる 仕組みづくり

【当たり前のことを改めて整理】

- ① 「どこに」「どんな」相談がきても「しっかり聞いて」「しっかりつなぐ」。
- ② 関係機関での連携が必要な場合には協力して支援する。

整理

①断らない相談窓口

重層交付金の対象に関係なく、相談支援を行う関係機関を相談支援機関として位置づけ

②関係機関が連携するための仕組みを構築

- ・関係各課に連携のマネジメント等を担う包括的相談支援員を配置
- ・多機関協働のガイドラインを策定
- ・支援会議・重層的支援会議の開催方法の整理

●相談支援機関 = 断らない相談窓口 計34か所を位置づけ

介護

- 高齢者支援課
- 基幹型地域包括支援センター
【直営】1センター【直営】1出張所
- 地域包括支援センター
【直営】2センター【委託】12センター

子ども

- 保育幼稚園課
- 母子保健課
- 子ども育成課
- 子ども家庭支援センター
- 子育て世代包括支援センター
【直営】4センター

障がい

- 障がい福祉課
- 健康増進課
- 基幹相談支援センター
・【直営】1センター
- 障害者相談センター
・【委託】4センター

生活困窮

- 福祉管理課
- 生活支援相談センター
・【委託】1センター

2. 住民が、より相談しやすい 環境づくり

【目的】

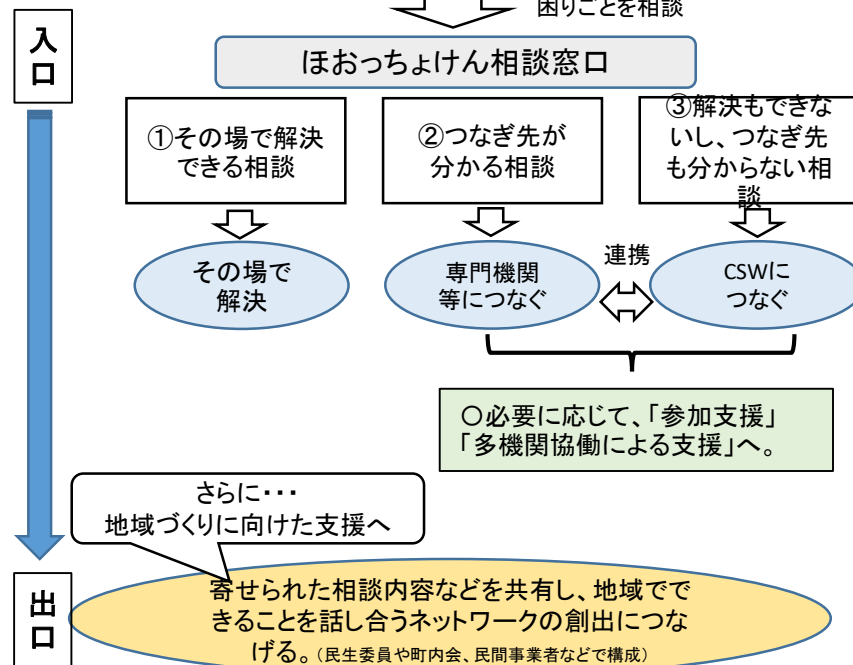
- ①困ったときに相談できる先があり、支援につながる仕組みづくり。
- ②自分が相談しやすい所に相談できる環境づくり。



○住民に身近な地域に「なんでも相談窓口」を設置。

名称：ほおっちょけん相談窓口

- ・趣旨に賛同した、薬局や社会福祉法人が運営する事業所で開設（無償）。
- ・住民の困りごとを受け止める「入口」と、解決をする「出口」の両方の役割。



4 高知市の取組

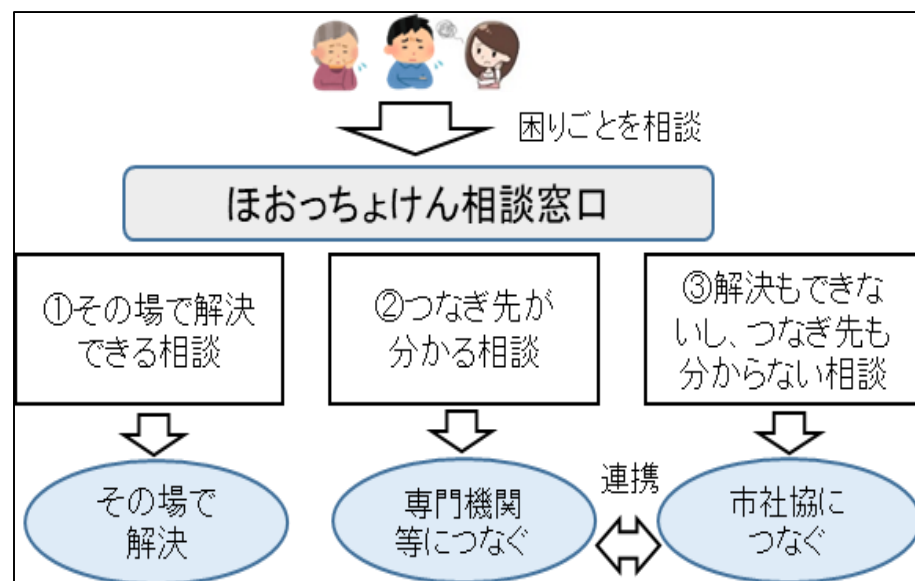
④ ほおっちょけん相談窓口

○薬局や社会福祉法人(介護、障がい、保育など)に設置

○現在103か所設置済

○無償で協力いただいている

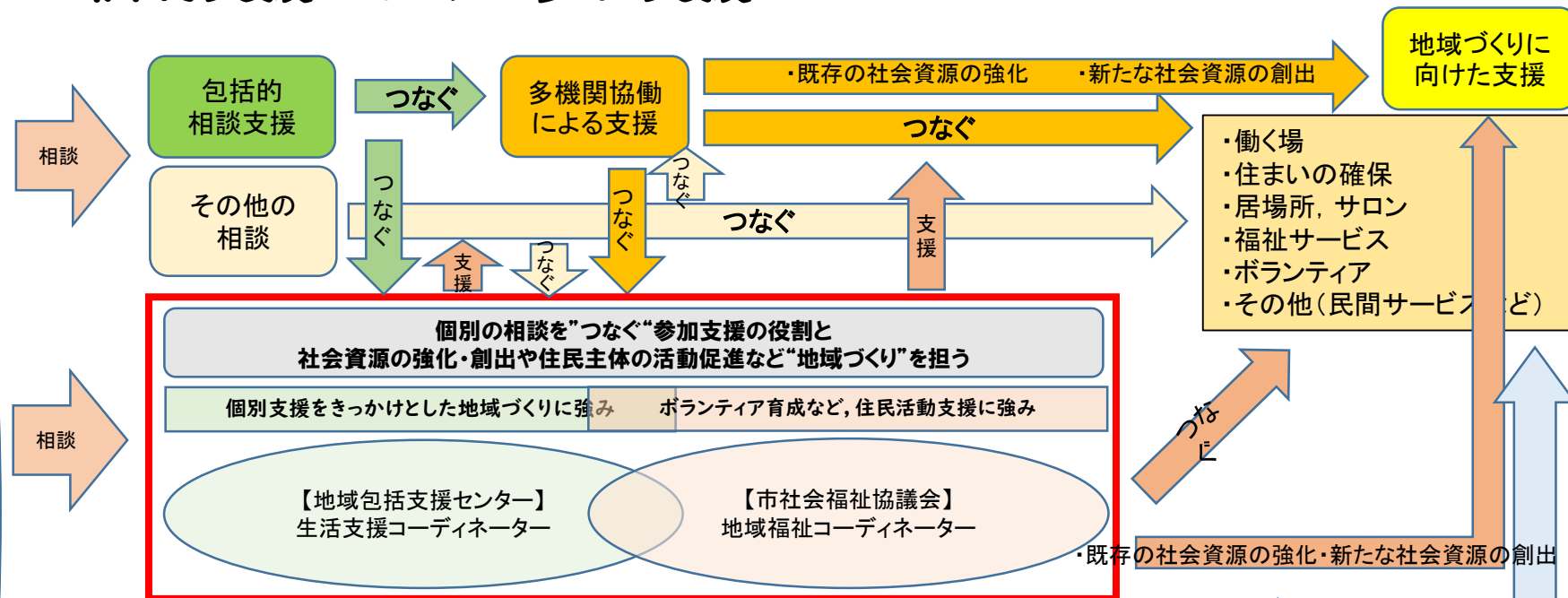
○相談窓口の入口に目印のシールを貼付



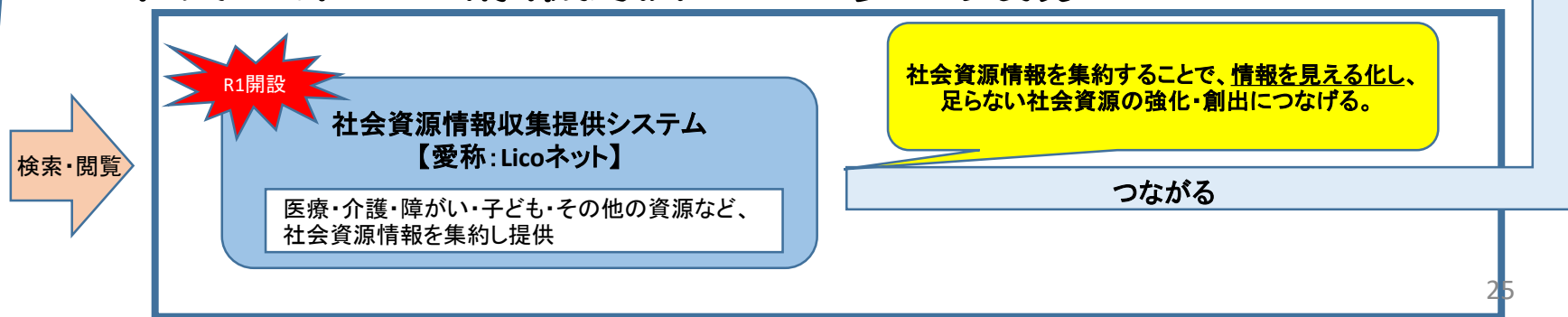
4 高知市の取組

⑤ 参加支援

1. 個別支援における参加支援

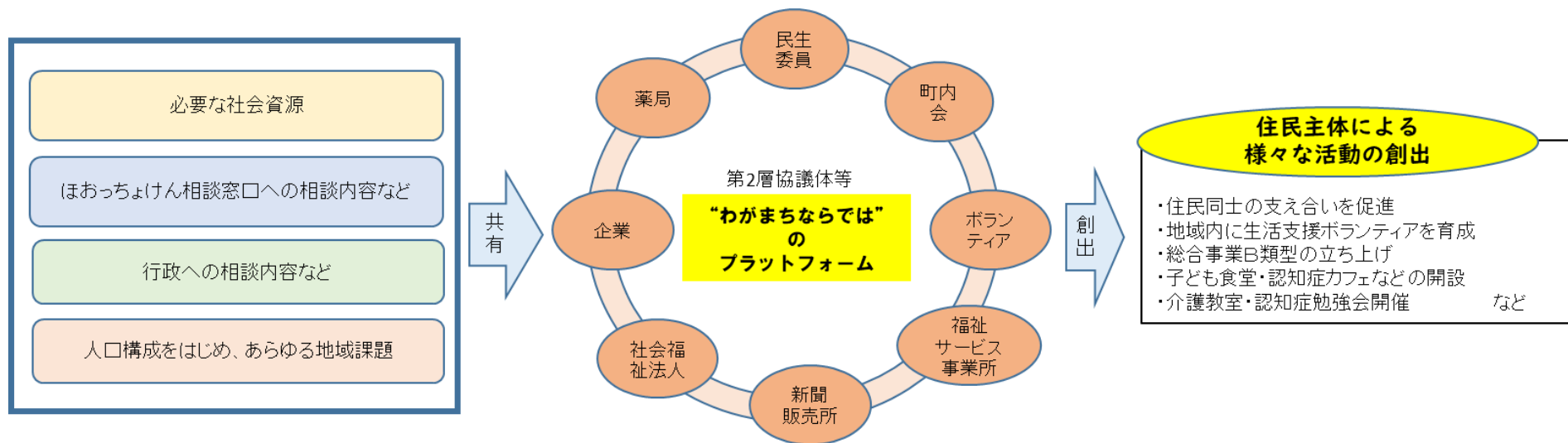


2. 市民全体への情報提供による参加支援



“相談”を地域づくりへ

課題解決型の地域ネットワーク “わがまちならでは” のプラットフォームの創出

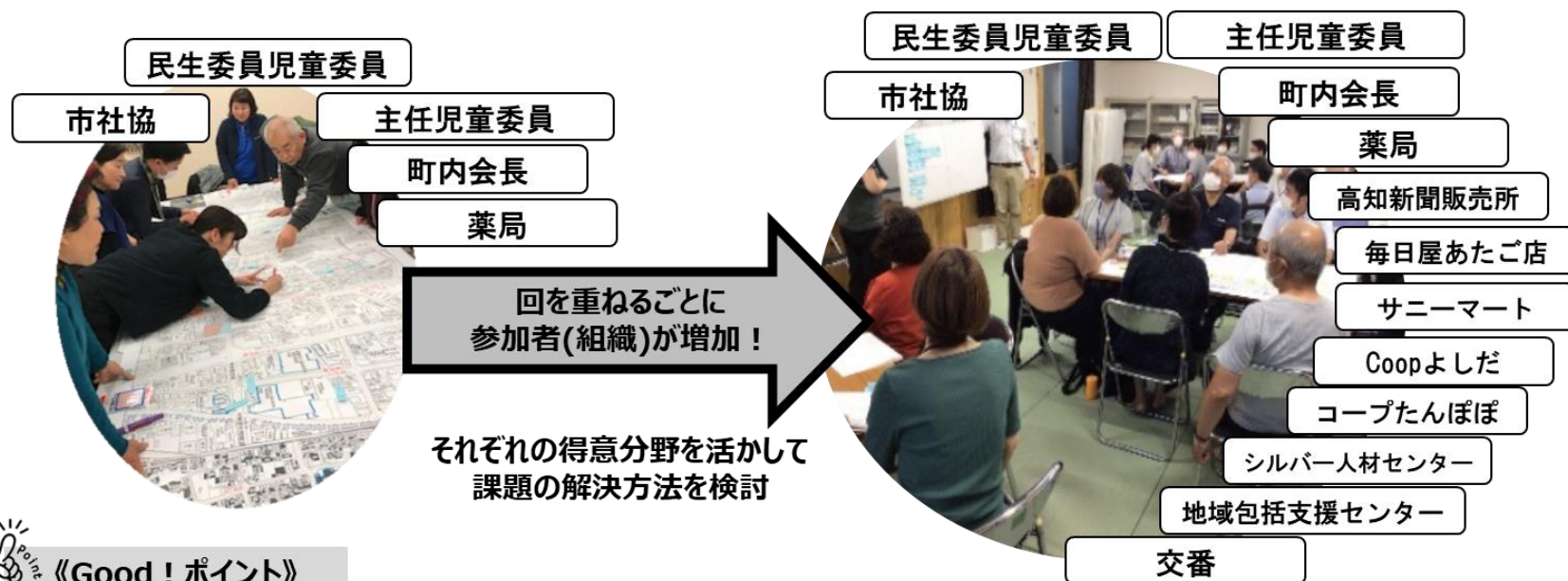


4 高知市の取組

⑦ “わがまちならでは” のネットワークの事例

事例 広がるネットワーク（江ノ口西地区）

※当初は既存の会議体を活用していたが、参加者の増加に伴い、新たな会議体として立上げ



【1】“今あるもの”にフォーカス

地域の中にすでにあるもの、企業や有償ボランティア団体がすでにやっているサービス etc…
“今あるもの”を見える化し、活用することで、地域の困りごとを解決するという視点

後日談として…

参加していない民生委員にも定例会を通じて企業のサービスを周知
⇒企業への依頼件数UP 困っている人に情報が届く仕組みへ

【2】住民目線で感じる困りごとと題材に

専門職発信の課題だけでなく、その地域で暮らしている住民が感じている困りごとについても相談・検討が出来る場づくり
(例)ネコ問題、高齢化による町内会活動の人材不足（不燃物の当番等）等

生活支援ボランティア

高齢者等の社会参加の機会

生活支援サービスの開発

地域における支え合いの意識の醸成

養成

登録

活動支援

養成講座の
開催

ボランティアセンター
登録

困りごととの
マッチング

《利用にあたっての注意点》

□生活支援ボランティアの5原則

①無償である ②専門的でない ③短時間の活動 ④単発の活動 ⑤身体的介助は伴わない

※生活支援ボランティアは、高知市社協の実施する所定の養成講座を受講し、登録していただいているボランティアで、ボランティア活動保険に加入。

□基本的な考え方

住民同士をつなぐ支え合いの仕組みであり、地域や困りごとの内容によっては、依頼を受けられないことがある。

4 高知市の取組

⑨ 生活支援ボランティアの活動事例

買物同行

スーパーに行って買い物をしたいが、足が悪く1人では行けない。同居の家族の協力も得られず、生活費も限られているため誰か同行してほしい。

独居高齢者宅の電球交換

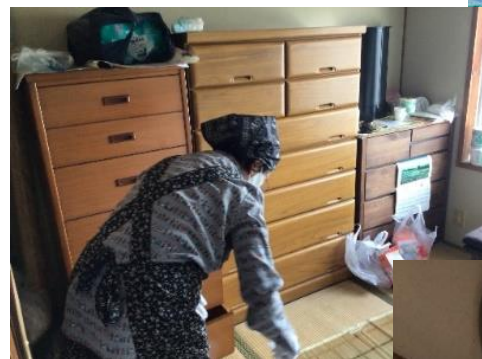
家の電球が点かなくなり、スタンドライトのわずかな光で生活している。本人は高齢、自分で交換するのは危険なため、交換をお願いしたい。

障がいのある方の自宅清掃

強迫性障害のある方。片付けに対するこだわりや汚れることへの不安感から一人で片付けが出来ない。今後のヘルパー利用前に部屋の片づけをしたい。

障がいのある方の自宅清掃

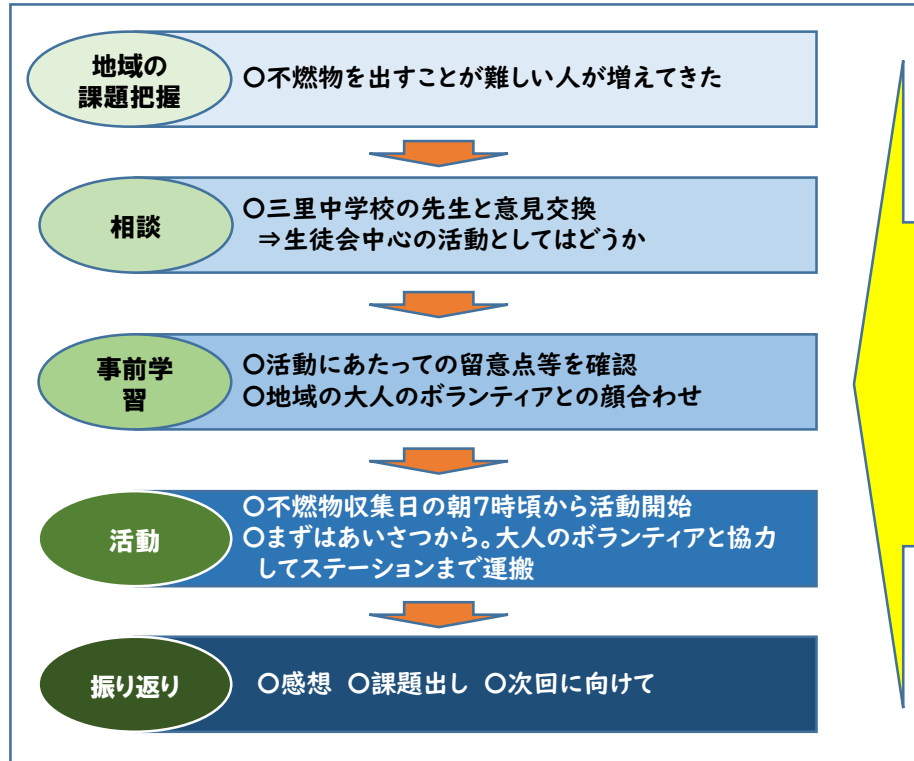
エアコンのフィルター清掃が一人ではできないため手伝ってほしい。



4 高知市の取組

⑩ 三里中学校ゴミ出しボランティア

三里中学校生徒会ゴミ出しボランティア活動を支援



- ・高知市社会福祉協議会 (地域福祉コーディネーター)
- ・三里地域包括支援センター

連携
高知市



企業の社会貢献の思い

高齢者に関する地域貢献活動
●×スーパー

- ・買い物支援
- ・一人暮らし世帯の見守り活動
- ・生活支援

子どもに関する地域貢献活動
●×サービス業

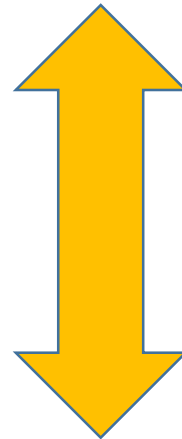
- ・子ども食堂のお手伝い
- ・学習支援
- ・職業体験イベントの実施

自然や環境に関する地域貢献活動
●×事業所

- ・公園や道路などの清掃
- ・緑化活動
- ・ゴミ拾いイベント

まちづくりのための地域貢献活動
●×株式会社

- ・地域の居場所づくり
- ・多世代交流型イベントの実施



【ユニクロ】 高齢者と障がい者のための買物支援

開店前の時間に貸切サービスを実施

ゆっくり買物ができて良かった。

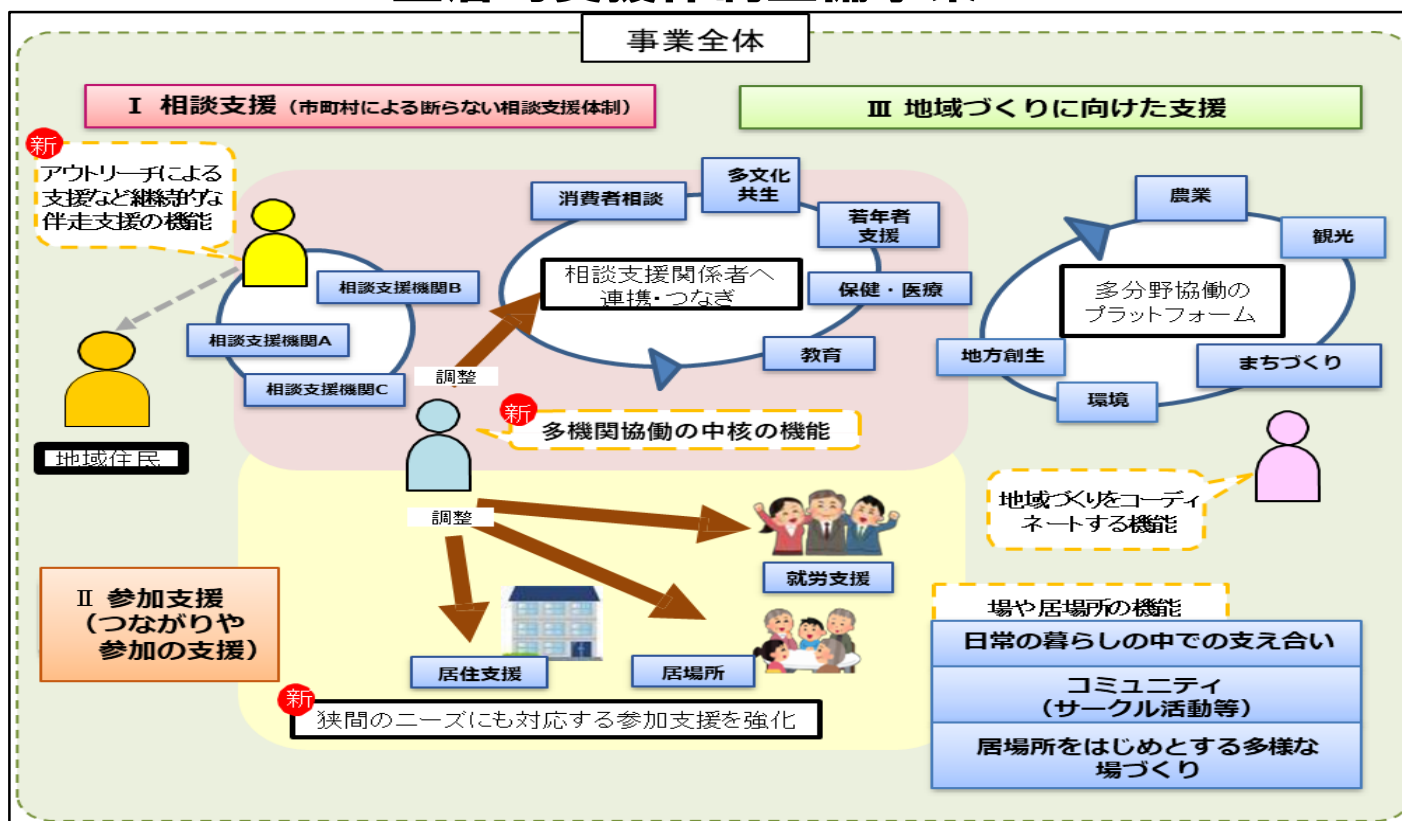
普段は着ないような派手な服を買った。10歳は若返った。



住民ニーズや地域課題

“入口”と“出口”の話

重層的支援体制整備事業





5 市民意識の醸成

ほおっちょけん



ポスターの作成



5 市民意識の醸成

③ イベントの開催（イオンモール高知）

イオンモール高知

【令和4年10月15日（土）～16日（日）】

- ① ほおっちょけんの似顔絵とメッセージ展
（東秦泉寺保育園・福井保育園・一ツ橋保育園）
- ② ほおっちょけん塗り絵コーナー
- ③ 絵本の読み聞かせ（ほおっちょけん学習）
- ④ バルーンアート



5 市民意識の醸成

④ イベントの開催（オーテピア）

オーテピア

【令和5年2月4日（土）】

- ① ほおっちょけんスタンプラリー
- ② ほおっちょけんの似顔絵とメッセージ展
- ③ ほおっちょけん塗り絵コーナー
- ④ ほおっちょけん帽子作り
- ⑤ 相談窓口



地域共生社会推進
イベント

ほおっちょけんが オーテピアを ジャックする!?

ほおっちょけんグッズの
プレゼントもあるよ!

日時: 令和5年2月4日(土) 10時30分～17時00分
場所: オーテピア 高知図書館(追手筋2-1-1)
【イベント内容】
① ほおっちょけんスタンプラリー
② みんなのほおっちょけん展
③ つくってかぶってほおっちょけん
④ フードドライブ in オーテピア
⑤ 各種相談会
・新生活に向けた心配事相談会
・企業・事業者向けまちづくり相談会
・困りごと、なんでも相談会

このイベントの問い合わせ先
高知市地域共生社会推進課
088-821-6513



5 市民意識の醸成

⑤ ほおっちょけん学習（福祉教育）



高知市社会福祉協議会が実施

取組 1 ほおっちょけん学習の実施

<実施状況>

	保育 幼稚園	小学校	中学校 高校	専門学校 大学
実施箇所数(人数)	1(23)	5(398)	1(183)	1(19)
働き掛け箇所数	15	14	3	2

※新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見合わせる園や学校が増加

取組 2 サポーターの養成・活動支援

<新規登録者の推移>

新規登録者		登録者 総数	活動率
R3	R4		
49	28	77	87%

● 学習サポーターフォローアップ研修

サポーター登録者を対象に開催。
日本福祉大学の原田正樹教授を招き、
福祉教育に関して学びを深めた。

【参加者】 29名



福祉教育の推進

地域福祉は
福祉教育ではじまり
福祉教育でおわる

強化

取組 3 企業向け学習の実施

● 実施及び働きかけについて

実施箇所数(人数)	1(14)
働きかけ箇所数	12

● 地域活動とのマッチング支援

ほおっちょけんネットワーク会議への参加や生活支援ボランティアの実施など、企業の実情に応じた活動を提案。

NEW

取組 4 多様な主体の参画

● 社会福祉法人連絡協議会による実践

地域公益活動推進部会にて福祉教育を実施。
市社協が実施している「ほおっちょけん学習」
の内容をベースに、企画から実施までを複数法人が連携して実施。

【実施場所】 朝倉くすのき保育園分園

【参加者】 児童： 23名 部会員： 8名



ほおっちょけんが行く

